

空間情報を活用した地域活性化に関する研究 (高知県内の地域に貢献するための研究)

山崎 利文

地理情報システム
(GIS)

ドローン(UAV)
活用

地域防災装備

研究室の所在：V(Z)棟2階

・なぜこの研究をしているの？

高専での担当授業である測量学の応用研究として、地域活性化に役立つ空間情報分析とその方向性を探ります。

・具体的に今やっているのはどんなこと？

地球上の位置を決める測量技術の中で、ドローン(UAV)を飛ばして航空写真を撮って、3次元地図を作り、沢山の地域情報の中から、地理情報システム(GIS)を使って、地域の発展につながるような分析を行い、今後どのように対策を考えればよいかを導き、提案します。

また、ヒト・モノ・カネ(人材・物資・資金)の限られたなかにおいて、これらの資源を最大限に活用するビジネスモデルを研究しています。目に見えて成果の出る研究を目指しています。

・研究成果はどのようなモノやコトに役立つの？

分析された空間情報は地域における新しいビジネスプランの提案や地域起業、防災の活動につながり、地域社会に貢献します。